

市長としゃべらん

就職氷河期世代新規採用職員 × 原井 敬 市長



本 市は就職氷河期世代の採用試験を実施し、10月1日付けで7名を採用しました。
吉野川市の即戦力として期待される就職氷河期世代新規採用職員の皆さんと原井市長
のトークセッションの模様をお伝えします。



原井 敬 市長



たむら
えいみ
社会福祉課 主査



つつい
ようへい
建設課 事務主任



なか
仲
ともみ
総務課 主事



ふじもと
よしひろ
総務課 事務主任



たむら
ひさし
建築営繕室 主査



まえだ
みほ
教育総務課 技術主任



おおはら
さやか
鴨島東こども園 保育教諭

豊富な知識と経験を
市政に生かす

原井市長

今年度から広報よしのがわの企画として開始した「市長としゃべらん」ですが、今回が3回目になります。今回は10月から採用された就職氷河期世代の新規採用職員の皆さんに、スポーツを当て進めていきたいと思います。

皆さんの履歴書を改めて確認しているのですが、30代半ばから40代半ばまでの概ね10歳くらいの年齢幅で全員学生年が違うんですね。そういう意味でも、バランスよく揃ったのではないかなどと思つているところです。

まず始めにそれぞれに自己紹介をしていただきたいと思います。志望動機、前職のこと、家族のことでも何でも構いません。では藤本さんからいきましょうか。

藤本 藤本芳寛です。今年34歳で、今回就職氷河期世代の採用の中では一番歳になります。テレビで吉野川市が就職氷河期世代の採用試験をするというニュースを見て、年齢的に受けられるんじゃないかということで、応募をさせていただきました。前職は農業関係で常業の職に就いていました。趣味は体を動かすこと、野球、ソフトボール、サイクリング、釣りなどをやっています。

市長 藤本さんは前の職場で野球部を真ん中あたりになりますので、沿岸部に比べると南海トラフ地震などを想定した場合、比較的災害に強いんじゃないかなと思っていました。

市長 続きまして、筒井さん。

筒井 筒井陽平です。年齢は今年38歳になります。徳島市から結婚を機に鴨島に来ました。家の広報よしのがわを読んでましたら、就職氷河期世代の募集の記事を見つけたので、家族と相談して受験することになりました。今までの経験を評価していただけて、現在は建設課の方に配属させていただいております。その後に金属加工業、その次に建設業で仕事を4、5年していました。その経験を評価してもらえて、今は建設課の方に配属させていただいております。あと今年コロナの影響でできなかつたんですけど、阿波踊りも協会に所属している連でやっています。

市長 筒井 市長 いろいろと建設関係の資格を持つているということことで、建設課の方で頑張ってくれることになりましたけ

立ち上げて、主将もしていたと聞いていますが、今回こういう形になつて、その野球部の方は大丈夫?

一同 (笑)

藤本 前の職場では12年半お世話をなつたので、人間関係は続いてます。市役所の野球部にも入部させてもらえば、大事にしてもらって、市役所でも頑張つていただきたいと思います。出身は北島町?

市長 わかりました。

大村 大村さやかです。私は牟岐町出身で阿南市の公立保育所で長年働いていました。結婚をきっかけに吉野川市に住むようになって、これから会計年度任用職員として働いて行くのかなあと思っていましたが、今回この採用試験があることを知って、受験しました。趣味はウォーキングです。

市長 それで、次に大村さん。

大村 それでは、次に大村さん。

市長 大村さやかです。私は牟岐町出身で阿南市の公立保育所で長年働いていました。結婚をきっかけに吉野川市に住むようになって、これから会計年度任用職員として働いて行くのかなあと思っていましたが、今回この採用試験があることを知って、受験しました。趣味はウォーキングです。

市長 そこで、大村さん。

大村 3歳児の特別支援を担当しています。牟岐町でしたら海が近くにあります。こちらと自然環境が違いますけれど、どちらも吉野川市のイメージは?

市長 わかりました。

田村栄 田村栄美と申します。私は、元々吉野川市役所で会計年度任用職員として働いていました。正規職員の皆さんとの働く姿をずっと見てきたので、そこまでの仕事が自分にできるのか、ということをいつも思っていましたが、なかなか覚悟が決まりませんでしたが、家族と相談し、採用試験に挑戦しました。

市長 田村栄 からは家族の支えもあって、勉強にも集中でき、合格することができました。

市長 出身は香川県ですか?

田村栄 吉野川市に来て長いですね。